

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 2138

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本年年次報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間(2007年8月31日まで)です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

TEL: 03-5777-3900 MAIL: info@e-kabunushi.com



WebDoJapan Co.,Ltd.

株式会社ウェブドゥジャパン

〒102-0084

東京都千代田区二番町5番地1 住友不動産麹町ビル6F

TEL 03-3511-5891 FAX 03-3511-5892

URL: <http://www.webdojp.com/>



# WebDoJapan Co.,Ltd.

Financial Report 2006.4.1-2007.3.31  
第6期年次報告書



# 21世紀で最も感動を与えた会社になる。

当社は「21世紀で最も感動を与えた会社になる」というグランドビジョンのもと、大きく三つの事業を展開しています。

一つ目は、自社開発した携帯電話専用ロボット型検索エンジン「CROOZ!」を活用したモバイルP4P広告\*サービスの提供を行う「モバイル広告事業」。二つ目は、携帯コンテンツの企画・開発・配信・運用を一貫して提供する「モバイルコンテンツ事業」。そして三つ目は、IT・インターネット業界に特化した「人材事業」(テクニカルアウトソーシングサービス・人材紹介サービス)です。

これまで当社の事業は、IT・インターネット業界、特にモバイル領域をターゲットとして発展してきました。2001年の創業後まもなく、受託したシステム開発を「ITプロワーカー」(フリーランスエンジニア)に再委託するテクニカルアウトソーシングサービスを開始。2002年には自社でのモバイルコンテンツ開発・配信に参入し、携帯ゲ

ーム「熱血硬派くにおくん」を配信。更にこれまで培った携帯ビジネスのノウハウを投入して、2004年に検索エンジン「CROOZ!」を自社開発し、モバイル広告ビジネスへと踏みだしました。

当期の業績ですが、モバイルP4P広告配信を主力とした広告ビジネスが順調に収益を拡大し、売上高3,494百万円(前期比24.5%増)、当期純利益は160百万円(同23.2%増)となりました。広告ビジネス事業は、売上高574百万円(同258.5%増)、



コンテンツビジネス事業は売上高1,051百万円(同7.6%減)、人材ビジネス事業は売上高1,867百万円(同23.8%増)となりました。

当社はこれまで、すべての事業領域で順調に成長してきましたが、中でも、モバイルP4P広告市場においては、リーディングポジションを獲得しています。モバイル広告市場は、今後も携帯ビジネス環境の進展、すなわち携帯電話のデータ通信料定額化による利用機会の増大やハードウェアの進化に伴う利用方法の多様化などによって、急激な成長が見込まれています。当社においても「モバイル広告事業」を成長ドライバーと位置づけ、更なる発展を目指し、コンテンツ連動広告「アドページ」、キーワード連動広告「アドサーチ」を軸にモバイルP4P広告配信サービスに注力するとともに、広告主のニーズの多様化に柔軟に対応する新サービスの拡充も行っています。更に、「モバイルコンテン

ツ事業」とのシナジー効果についても検討しています。

また「人材事業」については、雇用情勢の変化に伴い、人材紹介サービスを拡充していくことで、更なる成長を目指します。

この度のヘラクレス市場への上場は、当社にとって、大きな転機となりました。上場は、当社のブランド力を強化し、新卒採用に大きな力をもたらしています。当社のような発展段階の企業にとって、一番の宝は「人材」であり、これまででも採用には特に力を入れてまいりました。更に、社員が社員のためにつくった人事制度や、わくわく会議などユニークな社内制度を活用して、人材の育成、ビジョンの共有を促進しています。今後も、社員一丸となって事業に邁進してまいります。

またそうした中で、会社も私自身も、いい意味で変わらないようにしていきたいと考えています。海図のないビジネスという

名の海原で、フロンティアスピリットを持ち続け、チャレンジ精神を失わないベンチャー企業として、「21世紀で最も感動を与えた会社になる」というビジョンの実践に向け終わらない航海を続けたいと思います。

最後に、株主の皆様には、成長拡大期にある当社を温かく見守っていただきたく存じます。急成長を遂げてはおりますが、未だ、人的投資や新規開発投資が必要な時期であり、なかなか株主の皆様への利益還元はまだ余力がないのが実情です。しかし、株主の皆様への利益還元は当社としての最重要事項の一つと考えており、まずは成長に伴う株式価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ、末永いご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長  
小瀨 宏二



## PROFILE

1974年群馬県生まれ。  
ホテルマン、IBMとCSK合併のシステム開発会社の営業を経て、2001年5月有限会社ウェブドゥジャパンを設立。翌年株式会社会社に組織変更し代表取締役社長に就任。

\*モバイルP4P広告:携帯向け広告の中で、キーワードやコンテンツに連動した広告

## モバイル広告事業

### 携帯に特化したコンテンツ連動&キーワード連動広告配信サービス

当事業では、自社開発の携帯電話専用ロボット型検索エンジンを搭載した検索サイト「CROOZ!」(以下、「CROOZ!」)及び当社の検索機能や広告配信システムを設置した提携サイト群(「アドページ」&「アドサーチ」ネットワーク)を媒体として、コンテンツ連動広告「アドページ」とキーワード連動広告サービス「アドサーチ」を軸とした広告配信サービスを展開しております。

「アドページ」は、ユーザーが閲覧している携帯サイトの内容を解析して、その内容に連動する広告だけを選出して、該当するページに最も効果的な広告を配信し、その広告をユーザーがクリックすることで当社が広告主から収益を得る仕組みです。

「アドサーチ」は、「CROOZ!」の検索窓から検索したキーワードに関連するような広告を検索結果とともに配信し、そのキーワード連動広告を一般ユーザーがクリックすることで当社が広告主から収益を得る仕組みです。

自社研究開発による携帯電話専用  
ロボット型検索エンジン

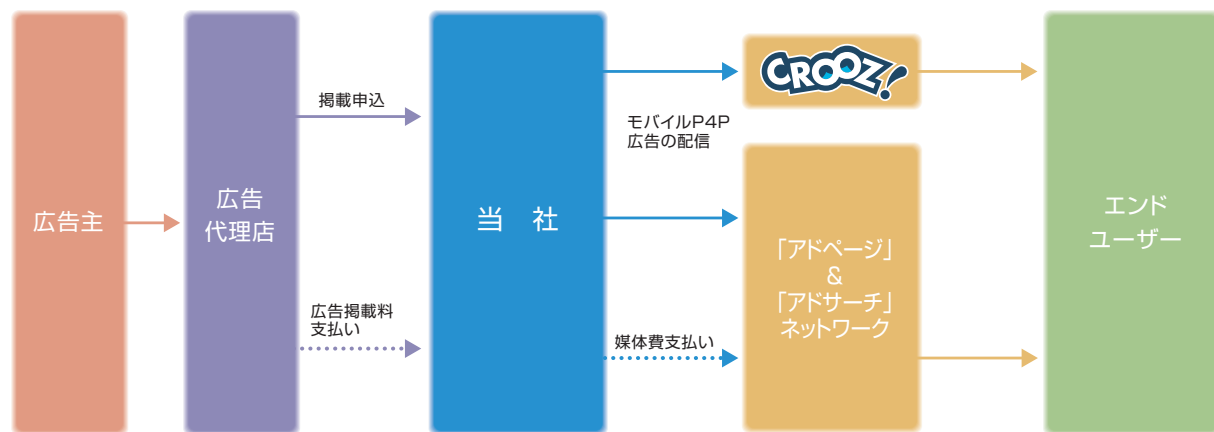


▽URL  
<http://crooz.jp>

▽サービス開始  
2004年8月1日

▽対応キャリア  
i-mode、EZweb、  
Yahoo!ケータイ

●モバイルP4P広告サービスの提供 ●携帯電話専用ロボット型検索エンジン「CROOZ!」の提供



## モバイルコンテンツ事業

### 携帯に特化したコンテンツサービス

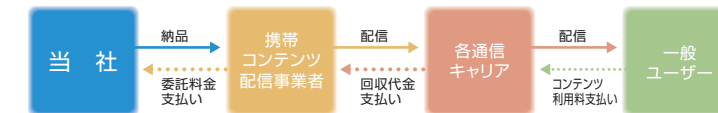
当事業では、携帯コンテンツ配信事業者より、携帯電話用ゲームなどのコンテンツの企画・開発・運用及び保守を受注する「受託開発サービス」と使用許諾を受けた著作物をもとに自社開発したコンテンツを通信キャリアの公式サイトを通じて配信する「コンテンツプロバイダーサービス」を展開しています。



【ゲームコンテンツ事例】

### 1 受託開発サービス

#### 携帯公式コンテンツの企画・開発・運用・保守



収益モデル:①月額固定の運用収入 ②会員数に応じたロイヤリティ収入 ③コンテンツ受託開発収入

### 2 コンテンツプロバイダーサービス

#### 携帯公式コンテンツの配信



収益モデル:エンドユーザーのコンテンツ利用料

## 人材事業

### IT・インターネット業界に特化した人材サービス

当事業は、以下のサービスに分類され、IT・インターネット業界に特化してサービスの提供を行っております。また、求職者やITプロワーカーの確保を目的として、お仕事検索サイト「CROOZ!キャリア」を自社媒体として運営しています。

#### 1 テクニカルアウトソーシングサービス

当社に登録している専門性の高い「ITプロワーカー」(フリーランスエンジニア)の技術力を活用して、業務委託契約/請負契約を締結し、取引先企業のIT化やインターネットサービスの構築支援を行うサービスです。

#### 2 人材紹介サービス

昭和22年施行の「職業安定法」に基づき、厚生労働大臣の許可を受けて、「有料職業紹介事業」を行うもの。IT・インターネット業界の取引先企業に特化したサービスを提供しています。



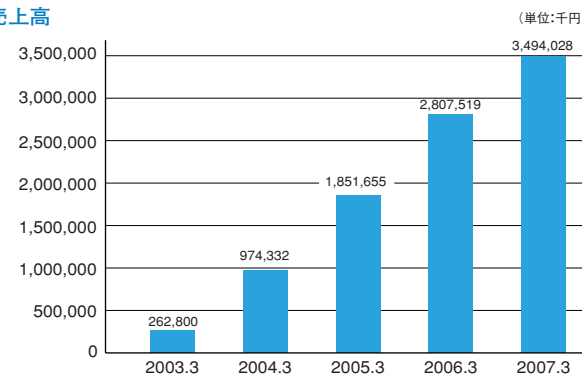
探そう、ITの仕事!  
「CROOZ!キャリア」TOPページ

## 決算のポイント

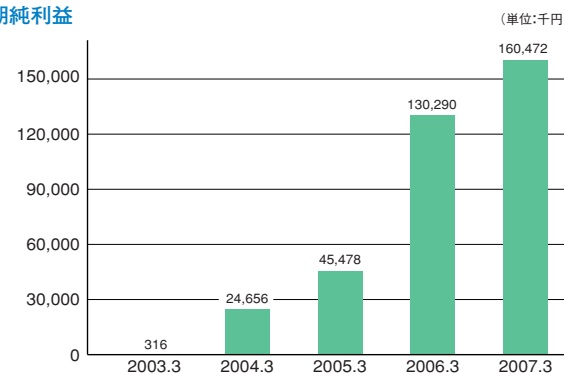
当期におきましては、モバイルP4P広告配信を主力としたモバイル広告事業が順調に収益を拡大し、今後の成長ドライバーとしての位置づけを確固たるものとすることができました。またその他事業においてもこれまで蓄積したノウハウを十分に活用し更なる成長を遂げることができました。

その結果、当期の売上高は3,494百万円(前期比24.5%増)、営業利益は294百万円(同4.9%増)、経常利益は274百万円(同0.4%減)、当期純利益は160百万円(同23.2%増)となりました。

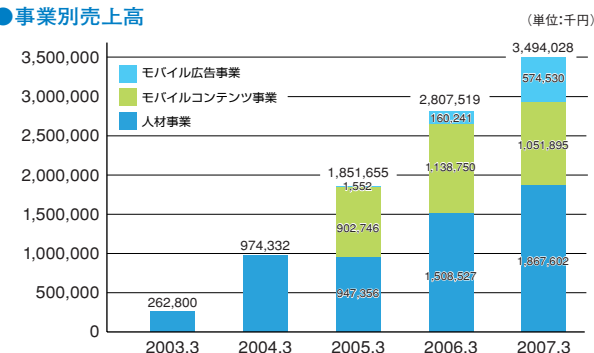
### ●売上高



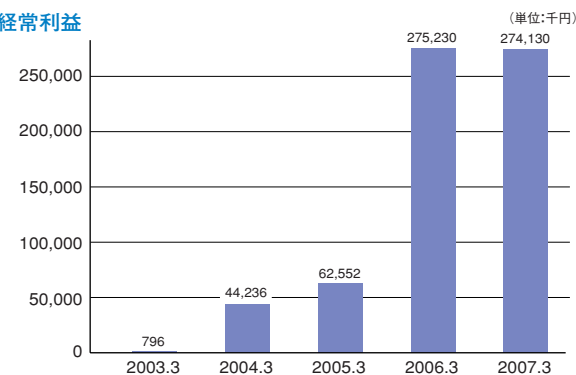
### ●当期純利益



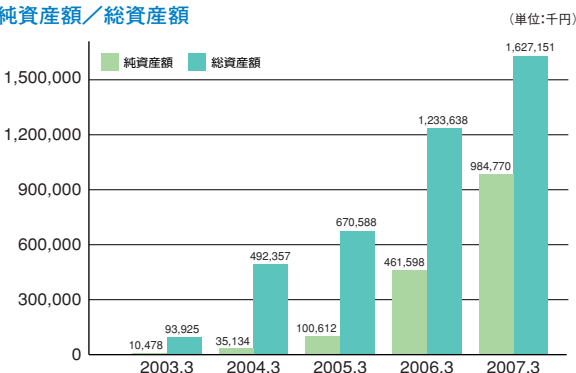
### ●事業別売上高



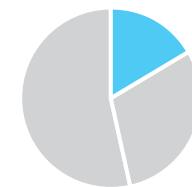
### ●経常利益



### ●純資産額/総資産額



## モバイル広告事業



売上高 **574**百万円  
(前期比258.5%増)

モバイル広告市場は、今後モバイルP4P広告の利用が進み、平成23年にはモバイル広告市場全体で1,284億円に対して、モバイルP4P広告市場は、494億円と急速に拡大するものと見られています。当期における広告ビジネス事業においては、PCインターネット広告の市場成長カーブが緩やかになる一方で、モバイルインターネット広告は順調に市場拡大が続き、特に当社が主力とするモバイルP4P広告においては、GoogleやYahoo!などの大手広告事業者の参入が始まり、インターネット広告代理店もモバイル広告の取り扱いを強化するなど市場の注目が一気に高まりました。こうした市場拡大を受け、当社は、モバイルP4P広告の販売に注力し、広告を配信する提携先も順調に増加を続け、収益が拡大しました。この結果、モバイル広告事業の売上高は574百万円(前期比258.5%増)となりました。

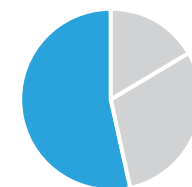
## モバイルコンテンツ事業



売上高 **1,051**百万円  
(前期比7.6%減)

モバイルコンテンツ市場の中でも当社が注力しているモバイルゲーム市場は、589億円と前年実績(412億円)に比べ42.9%増となり、携帯電話の高機能化に伴う、高精細、高機能なゲームアプリが成長を牽引しております。当期におけるモバイルコンテンツ事業においては、モバイルコンテンツ市場が頭打ちになると言われながらも、独自の強みを持つ当社の受託開発サービス、コンテンツ配信サービスとともに堅調に推移いたしました。受託開発サービスにおいては、当期においても既存優良顧客よりパチンコ、パチスロコンテンツを受託し、安定的に収益を上げ、コンテンツ配信サービスにおいては、くにおくんシリーズの新アプリリリースが奏功し、会員数を伸ばすことに成功しました。この結果、モバイルコンテンツ事業の売上高は1,051百万円(前期比7.6%減)となりました。

## 人材事業



売上高 **1,867**百万円  
(前期比23.8%増)

当社が事業を展開している人材ビジネス市場は、人材紹介市場で1,050億円、アウトソーシング市場で1.5兆円となり、いずれも二桁成長を維持しております。当期における人材ビジネスにおいては、雇用環境の急速な改善や2007年問題による人手不足が顕在化する中、特に人手が足りないと言われるIT・インターネット業界に特化する戦略が奏功し順調に収益を拡大することができました。テクニカルアウトソーシングサービスにおいては、登録技術者ネットワークの充実と拡大を目指し、勉強会や親睦会開催を通じ技術者とのリレーションを強化いたしました。人材紹介サービスにおいては、求職者に対するカウンセリング数の拡大を目指し、求職者の確保に努めました。結果、人材事業の売上高は1,867百万円(前期比23.8%増)となりました。

**貸借対照表 (要旨)**

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2007年3月31日現在	2006年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,372,811	1,020,315
現金及び預金	821,926	590,063
売掛金	520,388	384,777
仕掛品	6,404	13,239
前渡金	1,553	2,434
前払費用	22,255	25,708
繰延税金資産	6,597	8,699
その他	410	433
貸倒引当金	△6,724	△5,040
固定資産	254,339	213,322
有形固定資産	52,056	37,450
無形固定資産	98,150	70,446
投資その他の資産	104,132	105,425
資産合計	1,627,151	1,233,638

**1 純資産**

利益の増加と2007年2月の上場時公募調達362百万円により、財務基盤を更に強化し、自己資本比率が60.5%となりました。

**2 売上高総利益率**

「広告ビジネス事業」の粗利益黒字化と粗利率の高い「人材紹介サービス」の売上増加により31.5%と、前期比2.1%増加いたしました。

**3 当期純利益**

人件費や地代家賃といった販管費の増加を、粗利益の増加により吸収したことと、前期38百万円を計上した特別損失が当期は殆ど発生しなかったことにより、前期比23.2%増加いたしました。

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2007年3月31日現在	2006年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	642,216	703,844
買掛金	436,216	318,348
短期借入金	—	82,000
一年内返済予定長期借入金	—	22,224
未払金	54,824	82,076
未払費用	46,140	52,553
未払法人税等	59,168	102,839
未払消費税等	18,191	18,601
前受金	14,921	17,457
預り金	12,754	7,744
固定負債	163	68,196
長期借入金	—	67,221
繰延税金負債	163	975
負債合計	642,380	772,040
<b>資本の部</b>		
資本金	—	135,347
資本剰余金	—	125,347
利益剰余金	—	200,903
資本合計	—	461,598
負債・資本合計	—	1,233,638
<b>純資産の部</b>		
株主資本	984,770	—
資本金	316,697	—
資本剰余金	306,697	—
利益剰余金	361,375	—
純資産合計	984,770	—
負債純資産合計	1,627,151	—

**損益計算書 (要旨)**

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2006年4月1日から2007年3月31日まで	2005年4月1日から2006年3月31日まで
売上高	3,494,028	2,807,519
人材ビジネス事業売上	1,867,602	1,508,527
コンテンツビジネス事業売上	1,051,895	1,138,750
広告ビジネス事業売上	574,530	160,241
売上原価	2,392,280	1,983,274
売上総利益	1,101,748	824,245
販売費及び一般管理費	807,275	543,592
営業利益	294,473	280,652
営業外収益	327	10
営業外費用	20,671	5,432
経常利益	274,130	275,230
特別損失	795	38,677
税引前当期純利益	273,334	236,552
法人税、住民税及び事業税	111,572	112,836
法人税等調整額	1,289	△6,574
当期純利益	160,472	130,290
前期繰越利益	—	67,504
当期末処分利益	—	197,795

2

3

**キャッシュ・フロー計算書 (要旨)**

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2006年4月1日から2007年3月31日まで	2005年4月1日から2006年3月31日まで
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	149,315	170,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,838	△152,678
5 財務活動によるキャッシュ・フロー	171,385	289,248
現金及び現金同等物の増加額	231,862	307,509
現金及び現金同等物の期首残高	590,063	282,554
現金及び現金同等物の期末残高	821,926	590,063

**4 営業活動によるキャッシュ・フロー**

税引前当期純利益は増加したものの、法人税等支払額が増加したことにより前期比△21百万円となりました。

**5 財務活動によるキャッシュ・フロー**

借入金全額返済により、前期比△117百万円となり、無借金経営となりました。

**株主資本等変動計算書 (要旨) 当期(2006年4月1日から2007年3月31日まで)**

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	特別償却準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
2006年3月31日 残高	135,347	125,347	125,347	3,108	197,795	200,903	461,598	461,598
事業年度中の変動額								
新株の発行	181,350	181,350	181,350				362,700	362,700
利益処分による特別償却準備金の積立				73	△73			
利益処分による特別償却準備金の取崩				△844	844			
特別償却準備金の取崩				△733	733			
当期純利益					160,472	160,472	160,472	160,472
事業年度中の変動額合計	181,350	181,350	181,350	△1,505	161,978	160,472	523,172	523,172
2007年3月31日 残高	316,697	306,697	306,697	1,602	359,773	361,375	984,770	984,770

## 会社概要／役員

### ■ 会社概要 (2007年3月31日現在)

社名	株式会社ウェブドゥジャパン (英訳名Web Do Japan Co.,Ltd.)
代表取締役社長	小淵 宏二
所在地	東京都千代田区二番町5番地1 住友不動産麹町ビル6F
設立	2001年5月24日
事業内容	①モバイル連動広告サービス ②モバイルコンテンツサービス ③人材サービス
資本金	316,697,500円
従業員数	116名

### ■ 役員 (2007年6月28日現在)

代表取締役社長	小淵 宏二
代表取締役副社長	曾根原 稔人
取締役	田沢 知志
取締役	古瀬 祥一
取締役	櫻井 英哉
監査役	邊田 真一郎
監査役	松島 俊行
監査役	菊地 隆

### ◆ ウェブサイトのご案内

<http://www.webdojp.com/>

当社では、ステークホルダーとのコミュニケーションを促進するためにコーポレートウェブサイトを立て上げております。当社への理解をより深めていただけますように、ニュースリリースやIR情報をタイムリーにお伝えしてまいります。



ホームページ

## 株式の状況 (2007年3月31日現在)

### ■ 株式の状況

発行可能株式総数	124,988株
発行済株式の総数	33,747株
株主数	1,431名

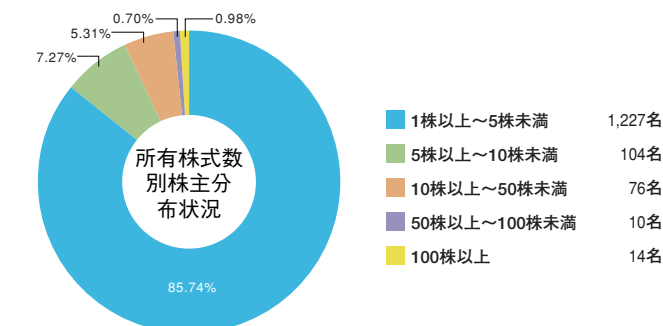
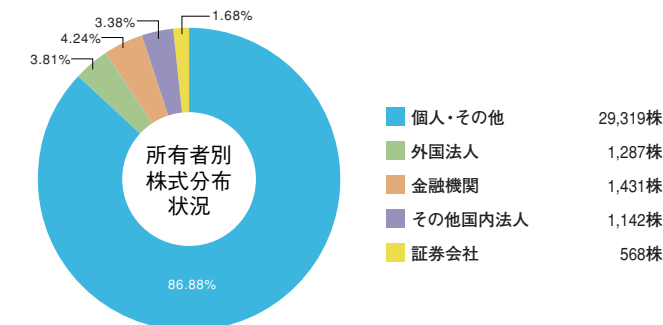
### ■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
小淵宏二	11,700	34.66
曾根原稔人	11,150	33.03
田沢知志	2,550	7.55
大阪証券金融株式会社	1,254	3.71
バンクオブニューヨーク・シーエムクライ アントアカウンティアイエスジー	549	1.62
ゴールドマンサックスインターナショナル	482	1.42
株式会社オプト	325	0.96
株式会社サイバーエージェント	325	0.96
株式会社セプテーニ・ホールディングス	325	0.96
松井証券株式会社(業務口)	211	0.62

### ■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月開催  
 基準日 3月31日  
 その他必要があるときは、あらかじめ  
 告知いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



同連絡先 〒137-8081  
 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)  
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
 野村證券株式会社 全国本支店  
 公告方法 電子公告  
<http://www.webdojp.com/>  
 但し、事故その他やむを得ない事由によ  
 って電子公告による公告をする事ができ  
 ない場合は、日本経済新聞に掲載いたし  
 ます。